「新時代に対応した高等学校改革支援事業（普通科改革支援事業）」

普通科新学科通信

No.9 令和4年11月21日発行 発行 探究科設置準備委員会

前回から学際領域学科における取組について掲載しています。今回は（2）コンソーシアム等の関係機関等との連携・協力体制の構築の考え方・方法についてお知らせします。

1 連携・協力体制の構築の考え方

本校において、本学科の設置による、生きた学びの研究・実践は、北海道内外を牽引する人材の育成やそれに先立つ目的意識を持った進学に寄与するものであり、このような取組は、道内はもちろんのこと全国のモデルケースとなるものであり、本校のスクール・ミッションを踏まえ、次代を担うグローバルリーダー・イノベーターを育成するため、高校と地域をつなぐコーディネーターを配置し、大学や国の機関、国際的な機関、地元機関などとコンソーシアムを構築して連携・協働した教育活動を実施する。

2 連携・協力体制の構築の方法

（1）コーディネーターの任用

（2）コンソーシアムの構築

- ・コンソーシアム規約の整備
- ・コーディネーターを中心に、生徒の探究活動のテーマに関連する大学、国の機関、国際機関等とのコンソーシアムを構築
- ・必要に応じて随時拡大、構成員の変更を実施

ちなみに本校のコンソーシアム「チーム湖陵」の構成員は以下のとおりです。

1 本校教職員

- ・コンソーシアムの構築、運営及び会議の開催等に係る業務

2 プロモーターメンバー

- ・教育活動への支援のほか、コンソーシアム会議に参加し、学校の教育活動に対し、指導・助言を行う
- ・大学・自治体・事業所（北海道大学、北海道教育大学釧路校、釧路市、北海道教育庁、釧路商工会議所等）に関して、現在構成員を調整中

3 サポーターメンバー

- ・学際的・複合的な学際分野や新たな学問領域に対応すべく、学校やプロモーターメンバーの要請に対して、必要に応じて、ワンポイントで学校の教育活動を人的・物的に支援
- ・道内外の大学等や自治体等、釧路市内外の各事業所、国際機関、国の機関、研究機関等、現在構成員を調整中

※プロモーター・サポーターメンバーは、探究活動成果発表会に出席し、生徒の活動への指導・助言を行う